



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月29日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7477 URL http://www.muraki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 加瀬 光二 TEL 042-357-5610
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,137	△3.3	89	ー	100	ー	55	ー
29年3月期第3四半期	6,348	1.4	△55	ー	△46	ー	△77	ー

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 69百万円 (ー%) 29年3月期第3四半期 △76百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	39.32	ー
29年3月期第3四半期	△5.49	ー

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,505	2,188	48.6
29年3月期	4,670	2,126	45.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,188百万円 29年3月期 2,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	1.00	ー	ー	1.00
30年3月期	ー	0.50	ー	ー	ー
30年3月期(予想)	ー	ー	ー	5.00	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は50銭となり、1株当たり年間配当金は1円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,987	△2.8	62	—	74	—	22	—	15.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	1,470,000株	29年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	50,201株	29年3月期	50,137株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	1,419,829株	29年3月期3Q	1,419,907株

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月22日開催の第59回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 50銭（注1） 期末 50銭（注2）

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 1円55銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

（注2）株式併合考慮前に換算した配当額です。

（注3）平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は1円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益改善や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が見られますが、アジアを中心とした新興国経済の動向や欧米の政策動向、また北朝鮮の軍事挑発の脅威等、海外の政治情勢は引き続き不安定な中、先行きが懸念される状況で推移しました。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界においては、原油価格の上昇による燃料価格の高止まりにより、消費者の買い控えは続いており依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは先に開示いたしました「構造改革の進捗状況に関するお知らせ」の通り、基本営業を徹底し事業の選択と集中を行ってまいりました。戦略的営業体制が確立された今、来年度に展開される新規顧客及び新領域への販売網の拡大に向けた準備を行っております。新販売戦略としてSSの在庫リスクを無くした全く新しいタイプの販売手法を構築しました。カーケア関連商品に囚われない当社ならではの斬新かつ新鮮な商品から、ニッチな商品まで消費者に直接訴えかけることにより顧客と商品、消費者を繋げていきます。今期中にテスト展開を行い、SSに新たな販売空間、販売チャネルを創出し変化する業界環境に新しいSSのかたち、消費者には新たなライフスタイルを提案してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 6,137百万円（前年同期比 3.3%減）となりました。

収益面におきましては、営業利益 89百万円（前年同期は営業損失 55百万円）、経常利益 100百万円（前年同期は経常損失 46百万円）、法人税等 42百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は 55百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 77百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業については、上記の要因から、売上高は 5,910百万円（前年同期比 4.4%減）、セグメント利益は 95百万円（前年同期はセグメント損失 57百万円）となりました。「その他」の事業につきましては売上高は 290百万円（前年同期比 29.0%増）となりセグメント損失は 6百万円（前年同期はセグメント利益 609千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は 3,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ 145百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 264百万円減少したことと受取手形及び売掛金が 266百万円増加したこと及び商品及び製品が 121百万円減少したこと等によるものです。固定資産は 1,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ 18百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が 6百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は 4,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ 164百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は 1,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ 67百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 122百万円増加したことと、1年内返済予定の長期借入金が 50百万円減少したこと等によるものです。固定負債は 686百万円となり、前連結会計年度末に比べ 294百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 301百万円減少したことと繰延税金負債が 6百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 2,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ 226百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ 62百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は 48.6%（前連結会計年度末は 45.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日付「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,087	1,239,727
受取手形及び売掛金	1,057,720	1,324,434
商品及び製品	790,563	669,508
繰延税金資産	6,084	6,456
その他	86,289	58,754
貸倒引当金	△823	△924
流動資産合計	3,443,921	3,297,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	855,241	852,709
減価償却累計額	△777,259	△781,067
建物及び構築物（純額）	77,982	71,641
機械装置及び運搬具	17,220	17,220
減価償却累計額	△16,565	△16,705
機械装置及び運搬具（純額）	655	515
土地	518,941	518,941
リース資産	3,326	3,326
減価償却累計額	△2,384	△2,883
リース資産（純額）	942	443
その他	211,067	208,982
減価償却累計額	△180,870	△186,951
その他（純額）	30,197	22,030
有形固定資産合計	628,718	613,573
無形固定資産		
のれん	79,078	75,957
その他	30,422	32,504
無形固定資産合計	109,501	108,461
投資その他の資産		
投資有価証券	138,602	158,383
差入保証金	335,350	317,249
その他	29,018	23,681
貸倒引当金	△14,929	△13,751
投資その他の資産合計	488,042	485,562
固定資産合計	1,226,262	1,207,597
資産合計	4,670,184	4,505,553

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	943,937	1,066,240
1年内返済予定の長期借入金	466,203	416,190
リース債務	738	501
未払法人税等	21,474	49,355
賞与引当金	11,125	6,840
その他	119,882	91,882
流動負債合計	1,563,361	1,631,010
固定負債		
長期借入金	651,545	349,784
リース債務	315	—
役員退職慰労引当金	29,670	33,667
退職給付に係る負債	267,426	266,170
繰延税金負債	24,848	31,259
その他	6,889	5,449
固定負債合計	980,694	686,330
負債合計	2,544,055	2,317,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	164,619	213,342
自己株式	△47,486	△47,565
株主資本合計	2,116,437	2,165,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,690	23,130
その他の包括利益累計額合計	9,690	23,130
純資産合計	2,126,128	2,188,212
負債純資産合計	4,670,184	4,505,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,348,692	6,137,639
売上原価	4,787,766	4,722,415
売上総利益	1,560,925	1,415,223
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	780,421	635,674
賞与引当金繰入額	6,219	6,840
役員退職慰労引当金繰入額	9,939	6,397
賞与	6,704	11,957
その他	813,577	664,537
販売費及び一般管理費合計	1,616,861	1,325,406
営業利益又は営業損失(△)	△55,935	89,816
営業外収益		
受取利息	1,528	1,295
仕入割引	9,715	8,818
保険解約返戻金	4	—
貸倒引当金戻入額	714	298
その他	6,139	5,853
営業外収益合計	18,103	16,265
営業外費用		
支払利息	6,195	4,932
手形売却損	761	408
その他	1,550	358
営業外費用合計	8,507	5,698
経常利益又は経常損失(△)	△46,339	100,383
特別損失		
固定資産除却損	0	1,579
特別損失合計	0	1,579
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△46,339	98,804
法人税、住民税及び事業税	29,908	42,825
法人税等調整額	1,744	156
法人税等合計	31,652	42,982
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,992	55,822
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△77,992	55,822

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,992	55,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,720	13,439
その他の包括利益合計	1,720	13,439
四半期包括利益	△76,271	69,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,271	69,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	カーケア関連 商品販売	その他	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,180,227	168,465	—	6,348,692
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	57,143	△57,297	—
計	6,180,381	225,608	△57,297	6,348,692
セグメント利益又は損失 (△)	△57,598	609	1,053	△55,935

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,053千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「カーケア関連商品販売」セグメントにおいて、当社は平成28年4月1日付で株式会社ミツワ商
会の全株式を取得し子会社化しております。

これによる当第3四半期連結累計期間におけるのれんの発生額は83,240千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	カーケア関連 商品販売	その他	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高				
(1)外部顧客への売上高	5,910,776	226,863	—	6,137,639
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	64,107	△64,194	—
計	5,910,862	290,971	△64,194	6,137,639
セグメント利益又は損失 (△)	95,282	△6,365	900	89,816

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額900千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。